



あけましておめでとうございます。先行き不安な世界ですが、一人ひとりが今日できることを積み重ねていきたいと思えます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

お知らせ

- #新年会（関西） 1月13日（土） 草志舎
- #畑儀文合唱教室 1月22日（月）3月19日（月） 草志舎
- #新年会（関東）1月27日（土）上野の杜 韻松亭（いんしょうてい）
- #古曳邸ミニ・コンサート 2月10日（土）
- #六甲山荘作業 2月17日（土）3月24日（土）
- #畑儀文合唱教室 2月19日（月） 草志舎
- #マーマレードづくり 3月6日（火） 草志舎
- #梅の茶会 3月11日（日） 草志舎
- #五島列島教会をめぐる旅 3月14日（水）～17日（土）
- #六甲山荘作業&スタッフ研修 3月31日（土）
- #ヨーロッパ文化遺産をめぐる旅～スイス・オーストリア編 5月30日（水）～6月7日（木）

【コラム】

六甲山頂明細地図

清水 彬久

ヴォーリズ六甲山荘は、1934年（昭和9）に小寺敬一氏の別荘として建築されました。山荘では、その当時の六甲山上の様子が分かるようにと1936年踏測の六甲山頂明細地図を展示しています。それに関わる話をしておきます。

その1 ヴォーリズ六甲山荘<旧小寺山荘・1934年（昭和9）築>のある地域は、もともと有野村唐櫃（からと）六甲山という地名で、北神戸にある同村の共有林でした。それを1927年（昭和2）に阪神電鉄が一带を開発するために買収。現在の所有地は阪神電鉄より1931年に購入したものです。ただ小寺家は、数少ない日本人として唐櫃から借地で1906年（明治39）より別荘を持っていたようで、大正時代の敷地は今より広大な面積がありました。小寺池というのは、その敷地内にあったためについた名称でしょう。

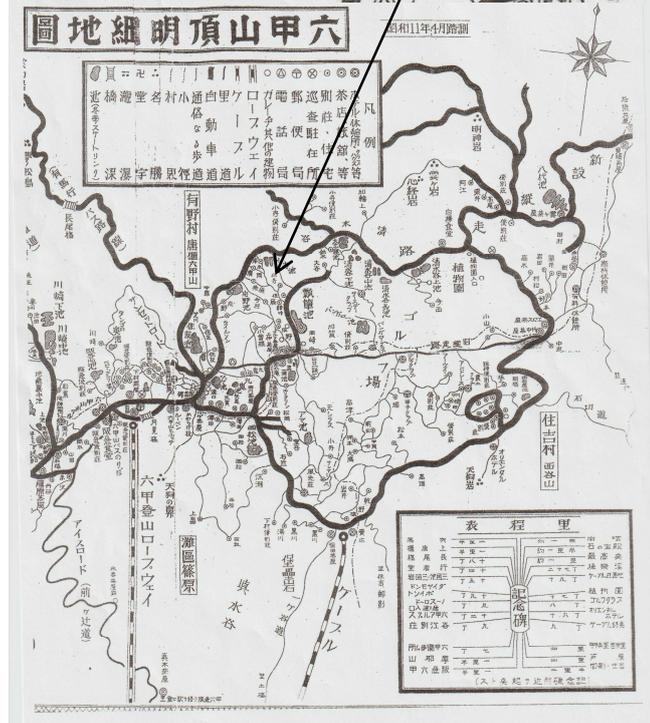
その2 六甲山の開発は、英国人グループにより神戸居留地の外人向け別荘地として1895年（明治28）に開発され、その共同施設である日本最初のゴルフ場となる神戸ゴルフ倶楽部が1903年に誕生しました。その後明治後期には日本人の別荘も形成されていき、1910年に六甲山郵便局、1918年に巡査駐在所を現在の場所に開設しています。

その3 交通網は次のように整備されていきました。昔は下界から登る足は駕籠でしたが、1928年（昭和3）に裏六甲ドライブウェイ、翌年表六甲ドライブウェイが開通。1932年には、阪神電鉄が別荘分譲のために山上回遊道路を造り、併せて同年に六甲ケーブルと六甲山バスの運行が開始され、現在の全容が完成します。なお、その前年には阪急電鉄が六甲登山ロープウェイを敷設しますが、戦時中に鉄供出により廃線となったままです。

その4 道路・交通等のインフラが整備されると観光施設の事業が立ち上がっていきます。阪急電鉄は1929年（昭和4）に六甲山ホテルを開業。阪神電鉄は有野村唐櫃の土地を分譲する一方、1933年オリエンタルホテル（出資）、同年高山植物園を開園します。

その5 昭和初期の代表的な建築としてヴォーリズ六甲山荘、六甲山ホテル別館、神戸ゴルフ倶楽部クラブハウス、六甲ケーブル山上駅の4件が近代化産業遺産に指定されています。その内ヴォーリズ六甲山荘と神戸ゴルフ倶楽部クラブハウスはヴォーリズの設計で国有形登録文化財です。

その6 有野村唐櫃地区には、有名人の別荘が集中していました。NHKの番組で注目された伴野家（ファミリア）や広岡家（大同生命）の他、住友家、小林一族、岡崎家等が挙げられます。



区間	距離 (里)
六甲山頂	一・七
六甲山頂	二・七
六甲山頂	三・七
六甲山頂	四・七
六甲山頂	五・七
六甲山頂	六・七
六甲山頂	七・七
六甲山頂	八・七
六甲山頂	九・七
六甲山頂	一〇・七
六甲山頂	一一・七
六甲山頂	一二・七
六甲山頂	一三・七
六甲山頂	一四・七
六甲山頂	一五・七
六甲山頂	一六・七
六甲山頂	一七・七
六甲山頂	一八・七
六甲山頂	一九・七
六甲山頂	二〇・七
六甲山頂	二一・七
六甲山頂	二二・七
六甲山頂	二三・七
六甲山頂	二四・七
六甲山頂	二五・七
六甲山頂	二六・七
六甲山頂	二七・七
六甲山頂	二八・七
六甲山頂	二九・七
六甲山頂	三〇・七
六甲山頂	三一・七
六甲山頂	三二・七
六甲山頂	三三・七
六甲山頂	三四・七
六甲山頂	三五・七
六甲山頂	三六・七
六甲山頂	三七・七
六甲山頂	三八・七
六甲山頂	三九・七
六甲山頂	四〇・七
六甲山頂	四一・七
六甲山頂	四二・七
六甲山頂	四三・七
六甲山頂	四四・七
六甲山頂	四五・七
六甲山頂	四六・七
六甲山頂	四七・七
六甲山頂	四八・七
六甲山頂	四九・七
六甲山頂	五〇・七

ヨーロッパ文化遺産を巡る旅～スイス・オーストリア編

アメニティ 2000 協会のヨーロッパの文化遺産をめぐる旅は、前回のイタリアについて今回はスイス・オーストリアをまわります。2002 年から始めたナショナル・トラストを訪ねる旅として 9 回目となります。

厳しい自然環境のなかを生き抜いてきたスイス、ミニ国家ながら豊かなリヒテンシュタイン公国、ハプスブルグ家の栄光を今につたえるオーストリアの三国です。ヨーロッパの自然と文化を楽しむ旅にご一緒しませんか。

旅行期間 2018 年 5 月 30 日(水)～6 月 7 日(木)

行程 ラヴォー → ベルン → グリンデルワルト → ルツェルン → チューリッヒ →
ザンクトガレン → ファドゥーツ → インスブルック → ザルツブルク → ウィーン

募集人員 25 名 (定員になり次第締切らせていただきます)

最小催行人員 15 名

費用 会員 398,000 円 (一般は 10,000 円プラス)

旅行主催 (株)JTБ 西日本 法人営業大阪支店 ベルン旧市街→



詳細は同封の案内チラシをご覧ください。ホームページにも掲載されています。

♪フランスシター at 古曳邸♪

優しい音色のフランスシターのコンサートを開きます。昨年セミナーの見学会をおこなった古曳邸 (川西市) でのサロン・コンサートです。演奏は会員の高井和代さんです。古曳邸の温かい応接間でお待ちしています。

日時 2018 年 2 月 10 日 (土) 開場午後 1 時 30 分 開演午後 2 時

演奏 高井和代 (フランスシター)

会場 古曳邸 (阪急電車川西能勢口駅から徒歩 20 分)

参加費 会員 1500 円 一般 2000 円 (いずれもお茶とケーキつき)

定員 20 名

申込締切 2 月 5 日 (ただし定員に達ししだい締め切ります)



詳細は同封の案内チラシをご覧ください。ホームページにも掲載されています。

国際ソロプチミスト神戸から表彰されました

このたび国際ソロプチミスト神戸から当協会が表彰を受けました。私たちのヴォーリズ六甲山荘保全活動など歴史的環境保全活動に敬意を表しての表彰です。副賞として 5 万円をいただきました。こうした国際的な活動をしている団体に評価していただけることは誇りであり、励みになります。ありがとうございました。

***ソロプチミスト**

女性による世界的奉仕団。さまざまな奉仕活動に対する援助や協力を行い、より豊かな生活を実現し、国際相互理解の促進に寄与することを目的に、顕彰事業や援助事業などを実施している。公益財団法人。



タイ支援金をいただきました

会員の堀尾早苗さんが主宰される ISSO International Club Kobe からタイ・プロジェクトへ 10 万円の支援金をいただきました。これまでもいろいろな活動を通して得られた利益をまとめて、タイの貧しい地域に学校を建てる資金を贈るなど、学校教育のために寄付活動をしてこられました。その活動に一区切りをつけて、この度アメニティ 2000 協会のタイ・プロジェクトに賛同していただいたとのこと。タイ・チェンマイ YMCA が行っている環境・農業教育プログラムへの支援金に充当させていただきます。ありがとうございました。

トラストユース・センター第Ⅵ期生募集

次の世代をになう若い人材を育てようというトラストユース・センターの第Ⅵ期生を募集します。2017年度は2016年度につづきハナ・イスタムさん（英国出身）、カルロス・ショネンベルグさん（エルサルバドル出身）とワリヤ・クナパスットさん（タイ出身）が在籍してくれて国際色ゆたかです。ハナさんは運営委員となって協会の運営に新しいアイデアをだしてくれています。

彼らに続く学生を求めています。このアメニティ便りに募集要項を同封しておりますので、お知り合いの若人に声をかけていただけませんか。もっと枚数が必要でしたらお送りいたします。

若い人たちのエネルギーをぜひ当協会に！！

弥生の茶会のご案内

梅の花をながめながら薄茶を楽しむ会です。作法にこだわらず気軽に一服いかがですか。ご希望の方にはお弁当も用意いたします。

月日 **2018年3月11日（日）**
午前11時～午後3時（入場は2時半まで）
場所 草志舎（阪急西宮駅から徒歩3分）
内容 薄茶席
参加費 会員1000円 一般1500円
お弁当 1200円見当（希望者のみ・要予約）
申込締切 3月8日
（お申込みの際 お弁当の有無もお知らせください）

詳細は同封の案内チラシをご覧ください。ホームページにも掲載されています。

新年会（関東地区）のご案内

年の初めに創業140年の老舗料亭で、一年の計を語り合ひましょう。ご参加お待ちしております。

日時 **1月27日（土）** 10時30分
場所 上野の杜 韻松亭 東照宮、ボタン園散策のあと韻松亭での昼食
参加費 3000円（ボタン園入園料は別途お支払いください）

*散策に参加されない方は12時15分に韻松亭前集合

申し込みは1月20日まで

詳細は同封の案内チラシをご覧ください。ホームページにも掲載されています。



ご報告 建物の保存を考える in Tokyo 東京駅と日本銀行本店 11月17日（金）

辰野金吾の建築である東京駅は元助役の方のガイドで、よく知っているはずの場所での歴史的見どころや新しい発見がありました。同じく辰野金吾の日銀本店は本館（免振工事中）以外を見学し、そのあと第一生命の旧館も内部を見ることができ、東京の中心部の建物を味わいました。

<参加記> 「東京駅と日本銀行本店 探訪」に参加して

澤口節子

一昨年5月、友人が六甲山山頂で結婚披露宴をした時に、ずっと見てみたかったヴォーリズさんの六甲山荘を見学する機会を得ました。小雨が降りだし、なおのこと静かな山荘でゆっくりお茶をいただきました。そこでアメニティ2000のご案内をいただき、帰京して早速入会し、今回は初めて参加する見学会でした。

煉瓦建築に興味を持っていましたが、今は東京駅は私にとっては通過する場所。中央線から新幹線へ、京葉線から中央線にと、上から下へ、東から西へいかにスムーズに移動を完了するか、人混



みを縫って移動します。外に出てもいつも工事中でフェンスとゴムの通路ばかり。震災にも戦災にも壊れなかった古めかしい煉瓦の外壁や、ステーションホテルのシックな電燈の明かりはどうなったんだろう。楽しみに参加しました。ガイドの永森さんのご案内で、これまで知らなかった0キロポスト、開業時のホームの支柱などを見て改めて鉄道の中心地、東京駅を感じました。圧巻は向かいのKITTEのテラスから見る東京駅の全容で、堂々とした建物全体を見ることができました。

東京駅は国の重要文化財に指定されているため、復元がなされました。訪れたいと思う建物が解体されたというニュースを聞くことが多くあります。改築され巨大なビルになります。なぜ保存ができないのだろう、技術や財源はきっとある。ノスタルジックな感傷だけでなく持続する志が必要なのでしょう。今回は日本銀行本店は免震工事中で建物の見学ができませんでした。このようにして長く使っていけるとよいと思います。

ご報告 畑儀文の合唱教室 11月20日(月) 12月18日(月)

年末が近くなると「第九」などのコンサートの話題で盛り上がります。畑儀文先生は出演や指揮でお忙しく、教室の参加者もコーラスで歌ったり、聴きにでかけたり、いつもにもまして音楽三昧の季節です。

ご報告 ヴォーリズ六甲山荘 大掃除&暖炉とワインを楽しむ会 11月23日(木・祝)

六甲山荘のうちあげです。このところお世話になっている三井住友信託銀行のボランティアの参加があり、おおいにはかどりました。背の高い脚立にのってリビングの梁を拭くのは若者ならではの離れ業(?)。無尽蔵の落ち葉を掃き続けるのも若者の体力勝負。おかげさまで屋内も庭ともすっきりきれいになりました。お疲れさまでした!



<参加記>

赤尾直己(三井住友信託銀行ボランティア)

先日、私はヴォーリズ六甲山荘の清掃活動に参加させていただきました。本格的な冬到来間近の六甲山の寒さは、とても体に染入りました。今回は落ち葉拾い班兼落ち葉焼き班、部屋の窓・床・梁清掃班に分かれて作業を開始しました。



私は落ち葉拾い班となり、熊手を握り清掃を開始しました。当初は寒さに震えていた体も、時間が経つに連れて温まってくるのを実感しました。掃けど掃けど無くなる落ち葉の多さに、普段体感することができない大自然の力を感じました。拾った落ち葉は、そのままにすることができないので、薪をくべて燃やしました。火が消えないように見張りつつ、風をうちわで送り込むという作業は、とても大変でしたが、清々しい汗を流すことができました。

一生懸命に清掃活動をしていると、あっという間に午前中が終わり、昼食の時間になりました。昼食は協会の方々が振る舞ってくださり、疲れた体が癒されるような温かく美味しい料理の数々でした。ありがとうございました。

昼食を済ませると、協会の方々、国登録有形文化財であるヴォーリズ山荘についての歴史を教えていただき、貴重なお話を聞くことができました。長年に渡って歴史ある建物を保全するためにも、今回のように我々ができる限り関わり、守っていくことが重要だと感じました。素晴らしい経験と、感謝の気持ちを胸に、私たちは六甲山荘を後にしました。またこのような形で保全活動に参加させていただきたいと思っております。

六甲山荘便り

10月、11月の六甲山荘

10月14日(土)には公開と平行して草木染教室を開き、石窯ピザも焼いてにぎやかで楽しい一日でした。この秋は台風と前触れの雨のため来場者ゼロや休館もあり、と思えば団体もたくさん来られて、なにかと忙しい時期でした。団体のうち山形政昭先生を講師にしたグループは先生のお話をききながら半日をゆっくり過ごされて喫茶も活用され、山荘をじっくり味わってくださいましたのが印象的でした。

11月19日で今年の一般公開は終了しました。23日に大掃除のうちあげをし、12月1日に水道の閉栓をして、山荘はいよいよ冬ごもりです。



六甲山荘作業

この秋は次のような作業を行いました。

- ・台風の後片付け 10月27日(金)
- ・大掃除 11月23日(木・祝)
- ・水道閉栓 12月1日(金)

厳冬の時期の氷結を避けるために温水器の水を抜き、水道の元栓を閉めます。

右の写真は温水器に布団のようなカバーをかけているところです。

冬期の作業は次のように予定しています。2月17日(土)、3月24日(土)、3月31日(土) タイルの剥がれや窓棧の修理など、公開中にはやりにくい作業をおこなう予定です。あなたもやってみませんか！



ヴォーリズ六甲山荘 2017年の実績

2017年の六甲山荘の一般公開はおわりました。実績は枠内のとおりです。

台風にたたられた年でした。台風襲来で臨時休館が3日あり、シンポジウムも日程を1日短縮するハメになりました。建物に被害がなかったのが幸いでした。また団体による見学が多い年でもありました。団体の見学はその時は時間に追われることが多いのですが、もう一度ゆっくり見たいとリピートしてくださる方がよくおられるのがうれしいですね。

昨年も書きましたがスタッフの人手不足はわかりません。もっと多くの方がスタッフとして参加して下さると、スタッフ全員の負担が楽になります。けっしてむずかしい仕事ではありません。マニュアルもあります。今年こそぜひ挑戦してみてくださいませんか。お待ちしております。なお3月31日(土)にはスタッフの研修も行います。このチャンスにスタッフをはじめてみましょう！

公開日数	79日
来場者数	1,063人
一日平均	13人
スタッフ	のべ167人
スタッフ参加者	38人

リーフレットを同封しました

このアメニティ便りと一緒にリーフレットをお送りしています。これはお知り合いに協会のことを宣伝していただく時にお使いください。リーフレットは一番手近な協会の案内書です。どうぞご活用ください。もっとお入用の場合は、ご連絡くださいばお送りいたします。

奈良屋記念杉本家保存会への寄付

協会の賛助会員である杉本家保存会の守る杉本家住宅は江戸時代からの大店の文化・建築を伝える京町屋で重要文化財です。このたび米蔵修繕費用として寄付依頼があり、3万円を寄付しました。

アメニティ・レポートの原稿募集

5月の総会にあわせて「アメニティ・レポート2017」を発行します。そのなかの皆さんの投稿欄「会員の声」への原稿を募集します。ふだん思っていること、最近読んだ本、見た映画、腹のたつこと、笑ったこと・・・なんでも結構です。友だちにおしゃべりするような気軽な気持ちで文章にしてお寄せください。

字数 400字前後

締め切り 3月末日

FAX でもメールでも郵送でも、事務局までお送りください。

皆さんの原稿お待ちしております。

マーマレードをつくりましょう！

熊本の中嶋祐一さんの甘夏を使って今年もマーマレードを作ります。添加物を一切使わないおいしくて安全なマーマレードができます。皆さんから寄付して下さったガラス瓶に詰めて冷凍保存し、六甲山荘で売ったり、希望者にお届けします。このマーマレードをご一緒に作ってみませんか。

3月6日(火) 午前10時半～夕方

一部の時間でも結構です。

持ち物 エプロン、包丁

なお昼食は簡単ですが用意します。

ガラス瓶をご寄付ください

上欄にありますように3月6日に甘夏のマーマレードをつくります。それにそなえてガラスの空き瓶を求めています。マーマレードをいれる小ぶりの瓶がありましたら、ご寄付いただけませんか。手許にあるという方はご連絡ください。受け渡しについてご相談させていただきます。

募金のご報告～10月11月

10月、11月に次の方々から募金をいただきました。

ありがとうございました。(敬称略)

<六甲山荘屋根葺替え資金>

《10月11月合計 140,000円 2017年度累計 914,728円》

<一般資金>

《10月11月合計 138,380円 2017年度累計 410,240円》

*文化遺産継承基金

《10月11月合計 512,810円 2017年度累計 1324,968円》



チェンマイ YMCA からのグリーティングカード